笹原中学校第１学年 学年通信 第１６号

笹　の　根

２０１９年１１月２２日（金）



２学期の大きな行事を終えて・・・

２学期には、体育大会や文化祭といった大きな行事がありました。それらを通して、一人ひとりが自分の役割を果たし、クラスや学年の絆を深めることができました。中学校で初めての文化祭、個性あふれる作品の数々を鑑賞するには時間が足りなかったかもしれません。友達や先輩の作品も鑑賞できた、楽しい時間でしたね。展示準備や片付けでは、教科リーダーや部活動の人たちが、それぞれの場所で本当によく働いてくれました。体育館にシートをひき、何百個ものパイプ椅子をまっすぐに並べてくれたのも１年生の人たちでした。「人のために動く」＝「働く」ことができました。見えない所でたくさんの人が働いてくれたおかげで、行事が成功に終わりました。

合唱コンクールでは、１年生らしいさわやかな歌声に、会場から大きな拍手を頂きました。どのクラスも練習の成果を発揮し、甲乙つけがたい仕上がりでした。金賞をとった４組は、笹中の代表として、伊丹市中学校交歓音楽会に参加し、「永遠のキャンパス」を熱唱しました。



先輩の合唱には、感動しましたね。来年、再来年には、聴いている人の心を動かす、先輩に負けないような合唱ができるように、期待しています。

１０月３０日に行われた「わくわくオーケストラ教室」では、西宮市にある兵庫県立芸術文化センターまで、班ごとに集合し、自分たちだけで電車に乗り、時間内に集合することに挑戦しました。この行事では、学年委員が中心となり、「３つのかけない～駆けない・腰掛けない・迷惑かけない～」を意識して行動するように呼びかけました。

「さすが笹中生！」。全クラス、すべての班が、自分たちの力で時間内に集合することができました。しかし課題も残りました。コンサートホールでのマナー（場所に応じたマナー）が良くない人が目につきました。正しい姿勢でしっかりと聴くことができなかった人やバスの運転手さんにさわやかな挨拶ができなかった人は、自分自身の判断で正しい行動ができるように、これから意識していきましょう。

トライやる・ウィークに向けて

半年後の５月１８日（月）～２２日（金）、トライやる・ウィーク本番です。それに向けての取り組みはもう始まっています。７月には、「トライやる・ウィーク報告会」で２年生の先輩がどんな事業所に行ったか、この活動でどんなことを学んだかなどをポスターセッションを通して教えてもらいました。活動の様子のＤＶＤも見ました。文化祭の展示では、体験活動の様子がわかる写真が展示されていたので、みんな興味深く見ながら「ここに行きたいな～」という会話も聞こえてきました。

夏休みの宿題では「職業インタビュー」を行いました。１０月１１日には各クラスで、インタビューした内容を発表しました。声の大きさ、話すスピード、表情も意識しながら、「しっかりと伝える」ことを目標に発表しました。班の中でまず発表し、各班から選ばれた代表者が、クラス全体に発表しました。



１組



２組



３組



４組

発表後の１組の黒板を紹介します。

・明るさ　・笑顔　・体力　・努力　・感謝の気持ち

⇩

他人を幸せにできる

保護者のみなさまへ

職業インタビューにご協力いただき、ありがとうございました。友達の発表を聞き、色々な職業があること、どんな職業でも働くうえで大切なことには共通点があることなどを学ぶことができました。また「働く上でのみんなへのアドバイス」は、有難い言葉ばかりでした。今後、トライやる・ウィークの活動場所を決めていく際、職種別、事業所別と順に希望調査をとってまいります。この活動が有意義で将来に役立つものになるよう、ご家庭でもよくご相談いただき、活動場所を決定していくよう、御協力をよろしくお願いいたします。

＜お知らせ＞

１１月２９日（金）伊丹市教育委員会指定の研究発表会が本校で開催されます。そのため、１年生は給食後、１３：４５頃に下校となります。また前日は大清掃があるため体操服が必要です。

職業講話から学ぶ

１１月６日の総合的な学習の時間に、猪名川甲英高等学院の後藤直樹校長先生をお招きし、職業講話をしていただきました。「働く」とはどういうことか、トライやる・ウィークに向けて具体的に今何をすればいいのか、また事業所での心構えなどを教えていただきました。



１年生のみなさんが、分離礼ができていることや熱心にメモをとる姿勢に感心され、とても話がしやすかった、とお褒めの言葉をたくさんいただき、うれしかったです。



はたらくとは
人のために自分が**動**く
はた　らく
↓
周り　　楽

具体的に何をすればいいの？
・あいさつ
・身だしなみ
・言葉遣い（返事）
・態度
・**プラスを持つこと**

はたらくとは
どうやったら周りの人のためになるか
周りの人が楽になるか・・・・
このことがいつも頭にあれば
どんな仕事でも大丈夫！！！

感想文をいくつか紹介します。

・相手がどうしたら楽になるのかを考えること、周りのために自分が動くことが「働く」ということが心に響きました。
・「働く」というのは、ただ生活するためのお金を稼ぐだけではなく、自分がだれかのために、もしくは、楽にさせてあげるために動くことなんだ、と改めて分かりました。
・「働」の意味は、人が動くのではなく、人のために自分が動くという意味だと知りました。どの職業についても、人のために一生懸命がんばろうと思いました。
・あいさつ、身だしなみ、約束を守る、時間を守る、態度、返事、来た時よりもきれいに、などたくさんのことを学べたので、これらのことを意識して、トライやる・ウィークに向けて頑張ろうと思います。学校の生活でも、これらができるようにしていこうと思います。
・しっかりと身だしなみを整え、きちんとした態度を保つことが大人になってから、ものすごく必要なスキルだと分かったので、今以上に高い意識で頑張ろうと思えました。
・ぼくが一番心に残ったのは、「あいさつ」です。あいさつで印象が変わると思いました。トライやるでは、あいさつを一番がんばってやりたいです。
・将来は、自分がつきたかった仕事についている確率は低いかもしれないけど、その仕事の中で、自分のやりがいや、環境の中でのやりがいを見つけて満足できる仕事をしたいと思いました。また、仕事は、相手との信頼を大事にしないといけない事が分かりました。

・人間は誰でも失敗するけど、その時、素直に謝って、次に同じ失敗をしないように、その失敗をいかせるようにすることが大切だと聞いて、少し安心できました。
・「プラスを持つこと」と聞き、どういうことだろう？と思いました。「疲れた」→「がんばった」、「忙しい」→「充実している」などとマイナス発言はプラスに変えられると分かったので、これからプラスに言葉から変えていくように心がけたいと思いました。
・マイナスの言葉をプラスの言葉にするために、日々プラスの言葉を使うことを意識し、無意識のうちに出るくらいになりたいと思った。職業講話を受けて、まずはトライやる・ウィークに向けて、そして将来へ向けて、習慣から変えていこうと思った。
・仕事をする上で何が大切か分かりました。あいさつや服装は、それほど大事じゃないと思っていたけど、自分がどう思うか、ではなく、相手がどう思うか、が大切なんだと分かりました。
・あいさつや返事などは、今からでも意識して行動することができるので、大きな声ではっきりとあいさつし、分離礼を意識していきたいと思います。返事も大きく、明るい声ではっきりと言うことを意識して取り組みたいと思いました。
・私はマイナス発言が多かったけど、講演会を聞いて、プラスの発言に変える方法を知って、今後に役立つと思いました。「働く」の意味が「人のために自分が動く」ということが分かり、「どうやったら周りの人のためになるか」が頭の中にあれば、どんな仕事も大丈夫！ということがわかりました。
・職業体験する時や、大人になって働くときに大事なことなどをたくさん知ることができました。大人になって働く時には、時間や約束をまもる、失敗をしてしまっても素直に謝る、同じ失敗を二度としないようにするにはどうしたらよいかを考えることが大事だと分かりました。
・今、自分がしたい職業以外の職についても、人と接して、やりがいを見つけることが大切だと思いました。
・普段から学校でやっていることはすべて将来につながっている、と思いました。私はまだ将来の夢がないけど、幼い頃から「これになりたい」と思っていても、なれないことがあると聞きました。でもどんな仕事についても、その仕事のいいところややりがいを見つければ、満足できることが分かりました。
・職業講話で、聞いていることをメモしていたら、紙が裏までいっぱいになりました。メモを見返すと、どれも重要なことばかりでした。今、やっていることが将来に役立つことがよく分かったので、今からしっかりとしていこうと思いました。
・今まで「働く」ことについて深く考えたことがなかったけど、今日の講演会で考えることができました。これから５つのポイント、①あいさつ　②身だしなみ　③態度　④言葉遣い　⑤プラスに考える　この５つは、今日からできることなので、今から取り組んでいこうと思います。仕事だけではなく、普段の生活でも周りの人のためになるようなことがしたいです。

おめでとう！

伊丹市人権週間記念作文
　佳作　[redacted]
全国中学生人権作文コンテスト　兵庫県大会伊丹地区大会
　奨励賞　[redacted]